

## 疫学研究のお願い

課題名 : 国際新病理分類に準じた肺腺癌の画像評価とその取り扱い

広島大学 放射線診断科では、肺がんで手術が行われた患者さんについて、手術前に撮影された胸部 CT 画像および手術時の病理標本を使用し、次のような研究を実施することになりました。

**研究目的:** 本研究の目的は、肺腺癌の CT 所見と国際新病理分類に基づいてなされた病理組織診断とを対比・検討し、CT 所見の解釈法の標準化を行うことです。さらに、標準化された CT 所見の、治療方針の決定・予後予測における有用性を検証することです。

**研究の意義:** 本研究が成就した際には、肺癌の中で最も多い肺腺癌の客観的な画像評価が確立されることが期待されます。このような画像評価は、患者さんにおける手術等の治療方針の決定や予後の予測にも重要なものになると考えられます。

**研究対象:** 広島大学病院で、肺腺癌の診断で手術された患者さんの既に撮影された CT 画像および手術時に摘出された病変部の病理画像を使用します。具体的には、2005 年から 2011 年の間に手術がなされた 100 人程度の患者さんの既存のデータを使用します。

**研究方法:** 過去の肺がんの CT 画像の所見について、新しい病理分類に対応した項目に分類し直します。その後、病理標本上の悪性度、治療方針の決定、患者さんの予後にどのような CT 所見が対応しているかについて検討します。すべての CT 画像、病理標本、その他の臨床情報は匿名化した後に、外部に漏れないように厳重に管理されます。

**個人情報の保護:** 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどご迷惑をお掛けすることはありませんので、ご安心ください。

### 研究についての連絡・問い合わせ先:

不明な点がございましたら、下記のところまでお問い合わせください。なお、研究に資料を提出したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益を生じることはありません。

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel:082-257-5257

広島大学大学院医歯薬保健学研究院 放射線診断学 粟井 和夫(研究責任者)